

大石デイサービス寿

通所介護・第1号通所事業（横浜市通所介護相当サービス）

運 営 規 程

（事業の目的）

第1条 株式会社大倉山起業が開設する大石デイサービス寿（以下、「事業所」という。）が行う通所介護事業及び第1号通所事業（横浜市通所介護相当サービス）（以下、「事業」という。）の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、要介護者、要支援者又は事業対象者（以下、「要介護者等」という。）に対し、事業所の生活相談員及び機能訓練指導員、看護師、准看護師等の看護職員、介護職員（以下、「従事者」という。）が、当該事業所において排泄、食事等の介護、入浴の介助、その他日常生活上の世話又は支援、機能訓練等の適切な通所介護及び第1号通所サービス（横浜市通所介護相当サービス）（以下、「通所介護等」という。）を提供することを目的とする。

（運営の方針）

- 第2条 事業の実施に当たっては、要介護者等となった場合においても、心身の特性を踏まえて、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、さらに利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の世話又は支援、機能訓練等の介護その他必要な援助を行う。また、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努める。
- 2 事業の実施に当たっては、要介護者等となることの予防又はその状態の軽減若しくは悪化の防止に資するよう、その目標を設定し、計画的に行うとともに、地域との結びつきを重視し、市町村、地域包括支援センター、老人介護支援センター、居宅介護支援事業者、介護予防支援事業者、他の居宅サービス事業者、他の介護予防サービス事業者、その他の保健・医療・福祉サービスを提供する者、住民による自発的な活動によるサービスを含めた地域における様々な取り組みを行う者等と密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。
- 3 事業の実施に当たっては、自らその提供するサービスの質の評価を行い、常にその改善を図る。

（事業所の名称等）

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

- ① 名 称 大石デイサービス寿
- ② 所在地 横浜市中区寿町3-11-3 栄和荘1階

（職員の職種、員数及び職務内容）

第4条 事業所に勤務する職員の職種、員数及び職務内容は次のとおりとする。

- ① 管理者 1名（常勤）
管理者は事業所の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行い、また、当該事業所の従業者に法令及びこの規程を遵守させるため必要な命令を行う。

1 単位目

- ② 生活相談員 2名（常勤）
生活相談員は、利用者及び家族からの相談を受けること、通所介護等の業務に従事するとともに、事業所に対する通所介護等の利用の申込に係る調整の補助、及び他の従事者と協力して通所介護計画及び第1号通所サービス（横浜市通所介護相当サービス）計画書（以下、「通所介護計画等」という。）の作成の補助等を行う。
- ③ 機能訓練指導員 7名（非常勤）
機能訓練指導員は、機能訓練計画の策定及び機能訓練の実施、従業者の指導に当たる。

- ④ 介護職員 6名（非常勤）
介護職員は、通所介護等の業務に当たる。
- ⑤ 看護職員 7名（非常勤）
看護職員は、健康管理の業務に当たる。

2 単位目

- ⑥ 生活相談員 2名（常勤）
生活相談員は、利用者及び家族からの相談を受けること、通所介護等の業務に従事するとともに、事業所に対する通所介護等の利用の申込に係る調整の補助、及び他の従事者と協力して通所介護計画等の作成の補助等を行う。
- ⑦ 機能訓練指導員 8名（非常勤）
機能訓練指導員は、機能訓練計画の策定及び機能訓練の実施、従業者の指導に当たる。
- ⑧ 介護職員 15名（非常勤）
介護職員は、通所介護等の業務に当たる。
- ⑨ 看護職員 8名（非常勤）
看護職員は、健康管理の業務に当たる。

3 単位目

- ⑩ 生活相談員 2名（常勤）
生活相談員は、利用者及び家族からの相談を受けること、通所介護等の業務に従事するとともに、事業所に対する通所介護等の利用の申込に係る調整の補助、及び他の従事者と協力して通所介護計画等の作成の補助等を行う。
- ⑪ 機能訓練指導員 8名（非常勤）
機能訓練指導員は、機能訓練計画の策定及び機能訓練の実施、従業者の指導に当たる。
- ⑫ 介護職員 15名（非常勤）
介護職員は、通所介護等の業務に当たる。
- ⑬ 看護職員 8名（非常勤）
看護職員は、健康管理の業務に当たる。

（営業日及び営業時間）

第5条 事業所の営業日及び営業時間は次のとおりとする。

- ① 営業日 : 月曜日から日曜日までとし、祝日も営業する。
ただし、12月31日から1月3日を除く。
- ② 営業時間 : 8:30～17:30
- ③ サービス提供時間 : 1単位目 8:50～15:55 月～土（祝日は行わない）
とサービス提供日 2単位目 9:20～12:25 月～日（祝日も行う）
3単位目 13:00～16:05 月～日（祝日も行う）

（通所介護等の利用定員）

第6条 通所介護等の利用定員は通所介護と第1号通所サービス（横浜市通所介護相当）を合計して次のとおりとする。

- 1単位目 4名
- 2単位目 16名
- 3単位目 16名

（通所介護等の利用料）

第7条 通所介護等を提供した場合の利用料の額は厚生労働大臣又は横浜市長が定める基準によるものとし、当該通所介護等が法定代理受領サービスであるときは、その1割、2割又は3割の額とする。詳細は料金表のとおりとする。

- 2 利用者の希望によるその他の費用
 - ① 昼食代 200円
 - ② 当日のご利用中止時、次の額を徴収する場合がある。 昼食相当額
- 3 前項の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明をした上で、支払に同意する旨の文書に署名（記名押印）を受ける。
- 4 利用料等の支払いを受けたときは、利用料とその他の利用料（個別の費用ごとの区分）について記載した領収書を交付する。
- 5 法定代理受領サービスに該当しない事業に係る利用料の支払いを受けた場合は、提供した事業の内容、費用の額その他必要と認められる事項を記載したサービス提供証明書を利用者に対して交付する。

（通所介護等の内容及び提供方法）

第8条 通所介護等の内容は、次のとおりとする。

- ① 日常生活上の世話及び支援
 - ② 食事の提供
 - ③ 入浴
 - ④ 機能訓練
 - ⑤ レクリエーション
 - ⑥ 健康チェック
 - ⑦ 送迎
 - ⑧ 相談
- 2 通所介護等の提供方法は、次のとおりとする。
- ① 事業所は、通所介護等の提供の開始に際し、あらかじめ、利用申込者又はその家族に対し、運営規程の概要、従事者等の勤務体制その他の利用申込者のサービスに資すると認められる重要事項を記した文書を交付して説明を行い、当該提供の開始について利用申込者の同意を得ることとする。また、説明においては、懇切丁寧にを行うことを旨とし、利用者又はその家族に対して理解しやすいように説明を行う。
 - ② 事業所の管理者は、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて、機能訓練等の目標、当該目標を達成するための具体的なサービスの内容等を記載した通所介護計画等をサービスの提供に関わる従事者と共同して、個々の利用者ごとに作成する。
 - ③ 前号の通所介護計画等において、既に居宅サービス計画又は介護予防サービス・支援計画書（以下、「居宅サービス計画等」という。）が作成されている場合には、当該計画に沿った通所介護計画等を作成する。
 - ④ 管理者は通所介護計画等を作成した際には、利用者又はその家族にその内容を説明し、文書により同意を受け、交付する。
 - ⑤ 事業所は、サービスの提供に当たっては、介護技術の進歩に対応し、適切な介護技術をもってサービスの提供を行う。
 - ⑥ 常に利用者の心身の状況、その置かれている環境等の適切な把握に努め、利用者又はその家族に対し、適切な相談及び助言を行う。
 - ⑦ 事業所は、サービスの提供に当たっては、利用者に係る居宅介護支援事業者、介護予防支援事業者又は地域包括支援センターが開催するサービス担当者会議等を通じて、利用者の心身の状況、その置かれている環境、他の保健医療サービス又は福祉サービスの利用状況等の把握に努める。
 - ⑧ 居宅サービス計画等、サービス担当者会議等の記録その他の通所介護等の提供に関する記録の保管方法については、利用者の人権やプライバシー保護の為、施錠できる書庫に整理して保管する。
 - ⑨ 居宅サービス計画等の作成後においても、当該通所介護計画等の実施状況の把握を行い、必要に応じて当該通所介護計画等の変更を行う。

(通常の事業の実施地域)

第9条 通常の事業の実施地域は、中区、南区、磯子区（東町）、西区（花咲町）とする。

(衛生管理等)

第10条 利用者の使用する施設、食器その他の設備又は飲用に供する水について、衛生的な管理に努め、又は衛生上必要な措置を講ずる。

2 事業所において感染症の発生、及び、まん延を防止するために次の措置を講ずる。

- ① 事業所における感染症の予防及びまん延の防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。）をおおむね6月に1回以上開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図ること。
- ② 事業所における感染症の予防及びまん延の防止のための指針を整備すること。
- ③ 事業所において、従業者に対し、感染症の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練を定期的実施すること。

(緊急時等における対応方法)

第11条 事業所の職員は、利用者に対するサービスの提供中に、利用者の病状に急変、その他緊急事態が生じたときには、速やかに主治医に連絡する等の措置を講ずるとともに、管理者に報告する。主治医への連絡が困難な場合は、緊急搬送等の必要な措置を講ずる。

2 事業所は、利用者に事故が発生した場合には、速やかに市町村、利用者の家族、利用者に係る居宅介護支援事業者等に連絡を行うとともに、必要な措置を講ずる。

3 利用者に対するサービスの提供により、賠償すべき事故が発生した場合には、損害賠償を速やかに行う。

(事故発生時の対応)

第12条 当事業所は、利用者に事故が発生した場合には、速やかに市町村、利用者の家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講ずる。

2 当事業所は、前項の事故及び事故に際してとった処置について記録する。

3 当事業所は、利用者に賠償すべき事故が発生した場合には、損害賠償を速やかに行う。

(非常災害対策)

第13条 非常災害に備えて、消防計画、風水害、地震等に対処する計画を作成し、防火管理者又は、火気・消防等についての責任者を定め、消火、通報及び避難の訓練を年2回以上定期的に行う。

(業務継続計画に関する事項)

第14条 事業所は、感染症及び災害発生時に利用者が継続して通所介護等の提供が受けられるよう業務継続計画を策定し、その内容を職員間で共有するとともに、平常時の対応の必要性や緊急時の対応にかかる理解の励行を行う。

2 事業所は、感染症や災害が発生した場合において、迅速に行動できるよう事業所内の役割分担の確認や実践するケアの研修及び訓練を実施する。

(苦情に対する対応方針)

第15条 事業所は、自らが提供したサービスに係る利用者からの苦情に迅速かつ適切に対応する。

2 事業所は、自らが提供したサービスに関し、介護保険法の規定により市町村が行う文書その他の物件の提出若しくは提示の求め又は当該市町村の職員からの質問若しくは照会に応じ、及び利用者からの苦情に関して市町村が行う調査に協力するとともに、市町村から指導又は助言を受けた場合においては、当該指導又は助言に従って行う。

(個人情報の保護)

第16条 事業所は、利用者及びその家族の個人情報について「個人情報の保護に関する法律」及び厚生労働省が策定した「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」、厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等を遵守し、適切な取扱いに努めるものとする。

- 2 事業所及び従業者が知り得た利用者及びその家族の個人情報については、事業所での介護サービスの提供以外の目的では原則的に利用しないものとし、外部への情報提供については必要に応じて利用者又はその家族の同意を得るものとする。
- 3 この秘密の保持や個人情報保護の義務は、サービス提供契約が終了した後においても継続するものとする。
- 4 従業者であった者に業務上知り得た利用者及びその家族の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、従業者との雇用契約の内容とする。

(虐待の防止のための措置に関する事項)

第17条 事業所は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次に掲げる措置を講じる。

- ① 事業所における虐待の防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。）を定期的開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図ること。
- ② 事業所における虐待の防止のための指針を整備すること。
- ③ 事業所において、従業者に対し虐待の防止のための研修を定期的実施すること。
- ④ 前3号に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置くこと。

(職場におけるハラスメントに関する事項)

第18条 事業所は、職場におけるハラスメントの内容、職場におけるハラスメントを行ってはならない旨の方針を明確化し、従業者に周知・啓発を行う。また、相談に応じ適切に対応するために必要な体制を整備し相談対応窓口をあらかじめ定め従業者に周知する。

(その他運営についての留意事項)

第19条 事業所は、従業者の質的向上を図るために研修の機会を次のとおり設けるものとし、業務体制を整備する。

- ① 採用時研修 採用後3ヶ月以内
- ② 継続研修 少なくとも年1回
- 2 事業所は、通所介護等の提供に関する記録を整備し、保管する。
- 3 この規程に定める事項の外、運営に関する重要事項は、医療法人社団祐和会と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附則

この規程は平成28年 1月 1日から施行する。
この規程は平成28年11月19日から施行する。
この規程は平成29年 2月 1日から施行する。
この規程は平成29年 9月 1日から施行する。
この規程は令和 2年 6月 1日から施行する。
この規程は令和 3年 4月 1日から施行する。
この規程は令和 5年 4月 1日から施行する。
この規程は令和 6年 1月 1日から施行する。
この規程は令和 8年 1月 1日から施行する。